

2022年度 第1回鋼材規格三者委員会（書面審議） 議事録

1. 日 時： 2022年5月27日（金）～6月24日（金）

2. 場 所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学）

（副委員長）緒形 副委員長（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）

藤原 副委員長（EMF応用計測）

（委員）相川（日本水道協会）、藤田（北海道大学）、沖（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、
小野田（日鉄SGワイヤ）、加藤（日本金属継手協会）、後藤（大同特殊鋼）、
熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸銅協会）、桑原（東京農工大学）、
近藤（日本自動車工業会）、種物谷（高压ガス保安協会）、酒井（神戸製鋼所）、
河口（不二越）、山田（東京大学）、富永（三菱重工業）、堤（日本規格協会）、
戸上（日本アルミニウム協会）、富山（土木研究所）、中澤（JFEスチール）、
桜井（日本鋼構造協会）、林（元理化学研究所）、藤井（日本試験機工業会）、
松本（和）（日本海事協会）、松本（聡）（日本製鉄）、山口（九州工業大学）

（委員長・副委員長・委員計 30名）

（関係者）伊藤・大竹（経済産業省）、甲斐・檜原（国土交通省）

（関係者計 4名）

（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、阿部、井田、楠野、玉田、山本、越川（日本鉄鋼連盟）

（事務局計 7名）

4. 議題と配布資料

下記の規格制改廃のための JIS 案の審議。

<制定>

JIS G 1228-1（鉄及び鋼－窒素定量方法

－第1部：アンモニア蒸留分離アミド硫酸滴定法）

（資料 1）

JIS G 1228-2（鉄及び鋼－窒素定量方法

－第2部：アンモニア蒸留分離吸光光度法）

（資料 2）

JIS G 1228-3（鉄及び鋼－窒素定量方法

－第3部：不活性ガス融解－熱伝導度法）

（資料 3）

<改正（追補）>

JIS Z 2248（金属材料曲げ試験方法）

（資料 4）

JIS Z 2253 (薄板金属材料の加工硬化指数試験方法)

(資料 5)

<廃止>

JIS G 1228 (鉄及び鋼－窒素定量方法)

(資料 6)

5. 決議年月日

2022年6月27日(月)

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、いずれの審議案件も下記の表に示すように賛成票30、反対票0で承認された。

審議事項	資料 番号	賛成	反対	結果
JIS G 1228-1 (鉄及び鋼－窒素定量方法 －第1部：アンモニア蒸留分離アミド硫酸滴定法)	1	30	0	承認
JIS G 1228-2 (鉄及び鋼－窒素定量方法 －第2部：アンモニア蒸留分離吸光光度法)	2	30	0	承認
JIS G 1228-3 (鉄及び鋼－窒素定量方法 －第3部：不活性ガス融解－熱伝導度法)	3	30	0	承認
JIS Z 2248 (金属材料曲げ試験方法)	4	30	0	承認
JIS Z 2253 (薄板金属材料の加工硬化指数試験方法)	5	30	0	承認
JIS G 1228 (鉄及び鋼－窒素定量方法)	6	30	0	承認

各案件に対するコメントと対応は、別添のとおり。

以上